

児童の見守りボランティア活動



【鳴海東部学区】

■世帯数：3,629 世帯

■人 口：9,704 人

■面 積：2.858 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・低学年児童の下校時に合わせ、学区内の 20 ヶ所に待ち受け拠点を設け、ボランティアが週 1 回の当番制で声かけ運動をしている。
- ・年間の延べ参加者数は約 1,500 人である。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、学区だよりの配布。

【アピールポイント】

ボランティアは長寿者が中心なので、無理のない活動にしている。待ち受け時間は 20 分程度、場所は自宅近くの希望する拠点にしている。都合が悪くなった日は連絡なしで不参加でも可。学校の行事日など変則時間となる日は実施しないこととしている。

2 きっかけ、背景

平成 17 年、全国的に小学校児童の誘拐事件が多発した。当鳴海東部学区には人口が急増する区域があり、事件が発生する心配があったため、児童の見守り活動を始めた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生委員児童委員、PTA
計約 50 人

(2) 他団体との協力

鳴海東部小学校及び PTA

(3) 運営協力

小学校及び PTA に呼びかけ、ボ
ランティアを補充している。

4 実施のスケジュール

H17 年 組織の立ち上げ、ボランティア
10 月 募集開始



H18 年 活動内容の説明会実施
5 月



9 月 児童見守り活動開始



H22 年 ボランティア再募集のための回
1 月 覧

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・世代を超えた心の交流が始まった。おかげで今まで事件は発生していない。

(2) 苦労した点

- ・参加者の確保。絶えずボランティアを補充していく必要がある。
- ・学期ごとに当番表を作成する関係で、学校と綿密な打ち合わせをしなくてはならない。

(3) 今後の課題・展望

- ・学区民の要望は年々変わってくる。現在は防犯活動への要望が強く、組織立ち上げの受け皿が確保できない。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・活動が長続きするために、ボラン
ティア一人ひとりの負担を軽くするよ
うにしている。

拠点待ち受け者（ボランティア）へのお願い

- 1 当番日の役割
 - (1) 鳴海東部小学校の発着時刻から勘案して、到着予想時刻の 10 分前に拠点場所に集合してください。
 - (2) 下校する児童が来たら声をかけてください。
 - (3) 児童は集団で下校することになっているので、集団が過ぎれば終わりです。
(担当者のお住まい近くの集団とそのまま移動してもらってください。)
 - (4) 待ち受け拠点以後が心配な地域は、適宜付き添ってください。
 - (5) 待ち受け後の報告は必要ありません。適宜解散です。
- 2 当番表について
 - (1) 祭日にあたる場合は、学校も休みですからありません。
 - (2) 学校行事等で下校時間が変わる日は実施しません。(当番表の下欄に記述してあります。尚、学校側の要望をお願いする場合は事前に連絡します。)
 - (3) 当番表は、学期ごとに出します。(当番表は各学期の 1 カ月前ぐらいに自治会を通じてお渡しします。)
 - (4) 急な用事等で都合がつかなくなった場合は、当番変更の措置は行いません。(日によって待ち受け者がいない拠点が生じますが、やむを得ないと考えます。)
 - (5) 「待ち受け場所」「当番曜日」について、会員同士で交換してもらってください。
 - (6) 空いてる「待ち受け場所」または「新たな場所」に変更もできます。
 - (7) 「待ち受け場所」は目安ですので、多少移動した場所でもかまいません。
- 3 その他
 - (1) 当番日には、できるだけ各自治会からお渡しした「ウインドブレーカー」または「ベスト」と「帽子」を着用してください。
 - (2) 児童との出会いには、行き過ぎた行為(執拗な問いかけ、写真撮影など)は誤解を招くことがありますので、ご注意ください。
 - (3) お訊ねの向きは、鳴海東部小学校(876-0320) 教頭先生もしくは学区区政委員会事務局の前田(876-6425)へお願いします。
 - (4) 緊急の連絡は、各自治会ごと一番最初の方に電話を入れます。以下名簿の順に流してください。(留守の場合は飛ばしてください。)